

れんけい 第15号

編集・発行 アカデミア・コンソーシアムふくしま事務局

アカデミア・コンソーシアムふくしま事務局です。

昨年は大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

NEWS LETTER「れんけい」第15号を発行いたしました。是非、ご覧ください。

フォレストツアーin いわきを開催しました

◇日時:平成28年11月26日(土)、11月27日(日)

◇場所:里山林・自然塾(田村市船引町)

湯の岳山荘(いわき市)

◇参加学生数:10名

◇参加大学(※五十音順に掲載)

日本大学、福島大学(留学生の参加あり)



平成28年11月26日(土)～27日(日)、福島県の「若者の森林自己学習支援事業」の一環として、福島大学に発足した学生グループ「森人(もりんちゅ)」が主催をする「フォレストツアーinいわき」が開催されました。

これは福島県内の林業の現状、課題を学生が自己学習をする取組の一つで、森に関心を持ちたい、あるいは関心があるけれど詳しいことがわからないというビギナーを対象とした内容を、学生たちが半年かけて検討し、実施に至ったものです。

当日は福島大学に加え、日本大学工学部の学生も参加をし、10名という少ない人数ながらも密度の濃い議論が重ねられました。なお、テーマが難しいということ、時間が不足するという理由にプレセミナーが1週間前の11月20日(日)に実施され、またフォレストツアー当日も議論のための時間が足りなくなり、12月18日(日)にアフターセミナーを実施しました。





首都圏学生とのスタディーツアー 合同成果発表会 in 東京

- ◇日時:平成28年12月4日(日)
- ◇場所:TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町
- ◇参加学生数: 98名
- ◇参加大学(※五十音順に掲載)



【福島県】

会津大学、郡山女子大学、桜の聖母短期大学、日本大学、東日本国際大学
福島県テクノアカデミー会津、福島工業専門学校、福島大学

【首都圏】

神奈川大学、関東学院大学、首都大学東京、上智大学、成城大学、専修大学
高崎経済大学、中央大学、津田塾大学、東京家政学院大学、東京大学
文教大学、法政大学、明治大学、横浜市立大学



平成 28 年 12 月 4 日(日)、福島県が主催し夏季に行った「ふくしまに見て、来て、感じるスタディーツアー 恋するフォーチュンアイランド」の合同成果発表会が東京都内で開催され、福島大学、会津大学、日本大学工学部、東日本国際大学、桜の聖母短期大学、福島県立テクノアカデミー会津の学生が参加しました。この中では、夏季のスタディーツアーに参加をした学生が再び東京に集結し、首都圏の学生と福島県内の学生で話し合っ
てまとめた福島県に対する提言を、AからEまでの5コースそれぞれに分かれて発表を
しました。

8月に実施をしたリフレクションで得られた成果はもちろんのこと、ソーシャルメディアを用いて情報発信の際に工夫すべきことに気がついた学生や、文化祭を用いた情報発信のさらなる可能性の模索など、スタディーツアー後にも継続して多様なことを考えていた学生が多かったことが印象的です。彼らは、福島県と首都圏の学生の橋渡し役となったのではないのでしょうか。

今後の継続的な情報発信、観光交流にはこうした異なる地域の学生間の人脈が大切、ということも発表の中にありました。彼らがこれからも継続的に福島県の風評払拭、風化防止に向けて、さらに活躍してくれることを期待したいものです。

ふくしまミニキッズ博



平成29年 1月 24日 (3)

【ふくしまミニキッズ博 第2弾】

- ◇日時:平成28年11月5日(土)
- ◇場所:福島市民会館1階 さんどパーク
- ◇参加学生人数:25名
- ◇参加大学(※五十音順で掲載)
桜の聖母短期大学、福島学院大学
福島大学

【ふくしまミニキッズ博 第3弾】

- ◇日時:平成28年12月18日(日)
- ◇場所:あづま総合体育館
- ◇学生参加人数:19名
- ◇参加大学(※五十音順で掲載)
桜の聖母短期大学、福島学院大学
福島大学



今年度の「ふくしまキッズ博」がすべて終了しました

平成28年11月5日(土)、福島市のさんどパークにおいて「ふくしま mini キッズ博 2016 第2弾」を、また平成28年12月18日(日)には同じく福島市内のあづま総合体育館において「ふくしま mini キッズ博 2016 第3弾」を開催しました。

この取組は「ふくしまキッズ博」の一環として、学生たちが自発的に行うものです。会場内では、福島市内の大学に在学する学生たちが準備をした遊び場が用意されており、多くの子どもや保護者が来場しました。



なお、この「ふくしま mini キッズ博 2016 第3弾」をもって、平成28年度の「ふくしまキッズ博」のすべてが終了しました。終了後に行った反省会では、「来年も継続して参加したい!」「自分が親になったときにも子どもを連れて来たいので、それまで続けてほしい!」という声が多くの子から聞かれ、学生たちは成功体験を基にやりがいや手応えを感じることができたようでした。

橋を

つくってこわそう in 南相馬

- ◇日時:平成28年12月27日(火)
- ◇場所:南相馬市立中央図書館
- ◇参加人数:小学生5名、学生 6名
- ◇参加大学(※五十音順で掲載)
福島県テクノアカデミー浜、福島工業専門学校



昨年12月27日(火)、南相馬市立中央図書館において「ものづくり教室『つくってこわそう in 南相馬』」を27年度に引き続き開催しました。この取り組みは、小学生を対象に橋の平面模型を作成し、その模型の強さを測るものです。橋のデザイン(材料の組み合わせ方)によって強さの違いを体験し、小学生に強度の面白さを感じてもらいます。講師は福島工業高等専門学校の根岸教授が担当し、学生は指導補助として小学生に分かりやすく指導することをとおして、普段の学びを深めることができました。

今回の「つくってこわそう in 南相馬」では、5人の小学生が参加し、6人の指導補助の学生がマンツーマンで丁寧に指導しました。参加した小学生は、「難しいけど、面白い」「お兄さんと一緒に作って楽しい」などの感想がありました。また、小学生の保護者からは、「チラシを見たときは難しそうだったが、思いのほか子どもが楽しんでいたので参加してよかった」「これから橋を注意深く見ようと思う」などの意見がありました。

◇今後の活動予定(1月～3月)◇

1月27日(金) 教職協働セミナー

2月22日(水)～2月24日(金) 大学間交流セミナーin 只見 2017

3月3日(金) 大学間連携共同教育推進事業「強い人材」総括シンポジウム
～「強い人材」による“ふくしま”の創生～

次回発行予定:3月

コラム  From: 片倉 育子

「強い人材」づくり事業はご存知の通り、今年度が最終年度です。これまで様々な取組を実施してきましたが、最も印象的なものはH24年度の三宅島の訪問(4泊5日間)です。この取組は私にとって、初めて宿泊を伴う引率業務であり、初めて訪れる島でしたので、とても緊張しました。当時は、現地を下見する時間的な余裕がなかったため、島の火山ガスはどんな臭いでどれくらいの濃度なのか? 島での天候はどうか? 携帯電話は繋がるのか? などの不安事項を、三宅村役場の担当者に尋ねた記憶があります。そして、不安を抱えながら出発した私の個人的な目標は「学生25人が元気に大学に帰る」でした。学生さんにとって貴重な訪問ですから、万全な体調で見学し、多くのことを学んでほしいと願っていました。現地では携帯電話が通じない地域が多く、三宅村役場の担当者との連絡が取れなかったり、風向きの影響で船の出港時間が早まり行程の前倒しが必要になったりとアクシデントがありましたが、無事に大学に帰ってくる事ができ、私にとって引率の自信につながりました。

平成29年1月12日(木) 桜の聖母短期大学にて行われました事業推進会議・事業評価委員会では、大変お世話になりました。

今回、会場の準備にあわせて、桜の聖母短期大学の学食でランチをいただきました♪お昼になると、授業を終えた学生でにぎわっており、学食内は大きな窓から入る光で暖かい雰囲気になっていました。

食物栄養専攻の学生たちが考案・調理しているメニューはどれも魅力的でとても美味しく大満足でした。皆様も是非、召し上がってみてください。



★ 豚肉の甘酢あんかけ定食

〒960-1296

福島市金谷川1番地 福島大学 地域連携課内

【電話 ☎】 024-548-5295

【メール ✉】 acf@adb.fukushima-u.ac.jp【URL】 <http://acfukushima.net/>【Facebook】 <https://www.facebook.com/ACFukushima/>

お気軽にご連絡ください♪

